



2022年7月5日
株式会社 阿波銀行

ゆうゆう株式会社の「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、ゆうゆう株式会社（代表取締役 田野 真理子、本社：徳島県美馬市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	ゆうゆう株式会社
所在地	徳島県美馬市脇町野村 4638 番地 1
代表者	田野 真理子
業種	訪問介護事業および附帯事業
設立	2011年5月18日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。



ゆうゆう株式会社 代表取締役 田野 真理子

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
環境	ゴミ・廃棄物削減	未来の地球環境を守るため、自社で排出する廃棄物の削減やリサイクル等の活動に努めます。	①(1)廃棄物排出量削減、リユース・リサイクルの推進 (2)ペットボトル・空き缶の分別回収やリサイクル活動 (3)ペーパーレス化の推進 (4)廃棄物の管理体制の強化(廃棄物処理場の順守、廃棄物管理責任者の選任等)		
			②(1)2025年度までに廃棄物排出量を10%削減(2021年度比) リサイクル率20%以上達成 (2)2025年度までにリサイクル率80% (3)毎年、前年度比5%削減 (4)2022年度までに責任者選任し、社内周知		
環境・社会	環境問題の認識・理解の推進	環境問題を自分事として取組むために、環境意識のさらなる向上に努めます。	①(1)従業員に対する、ポスター掲示やパンフレット配布等による普及・啓発 (2)従業員参加型の環境保全活動の実施(地域の清掃活動や森林整備ボランティア等)		
			②(1)年2回実施 (2)年2回実施		
社会・経済	教育への貢献	自社のリソースを最大限活用し、地域の教育に貢献する活動を行います。	①職業体験や出張授業の企画・実施		
			②2025年度までに地域の子供向けに職業体験授業を年1回開催		
社会・経済	社会的課題解決に資する商品・サービス開発	SDGsのターゲットやゴールと自社事業のつながりに関して理解を深め、今後SDGsに貢献する製品・サービスの開発に取り組めます。	①自社事業による社会的課題へのアプローチを検討・整理		
			②2023年度までに整理、全社員へ共有		

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。